

| 課題の類型 1 | 課題の類型2 | 課題の詳細 | 左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと | 本事業で達成する目標 (アウトカム) | 目標の達成度を 測る指標 | 現状の 数値 | 単 位 | 本 年 度 の 目 標 値 | 本 年 度 の 実 績 値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等) |
|------------|-----------------|---|--|--|-----------------------------|-----------|--------|---------------------------------|---------------------------------|--|
| ②学校と地域の課題 | その他 | コミュニティスクールをはじめ、現代社会では学校・地域・保護者のつながりが不可欠であるが、本市では地域全体のつながり・連携をより強固にできる余地がまだある。また、青年、保護者、高齢者など地域の優秀な人材を活用しているが、更なる活用の余地がある。 | くらの指導者やアシスタントボランティア、土曜の教育サポーターに、地域の人材を活用する。学校応援団やスポーツ推進委員等に協力を仰ぎ、学校区を越えて地域一体となった土曜日の学習体験の場を提供する。 | 参加する児童が多様な活動を選択し、参加できる。また、地域の人材側も児童と交流でき、地域で児童の健全育成を見守ることで、地域の人材同士の交流やつながりが生まれ、地域全体が活発になる。 | 新規開設クラブ数 | 0 | 件 | 1 | 2 | 4 ・「石神小-漢字探さく隊」を新設、「石神小-茶道・生け花」を再開した。いずれも市内在住の指導者によるクラブである。 ・漢字、茶道、生け花はすでに既存クラブでも実施している内容ではある。また、市内のどのクラブにも参加することは可能ではあるが、実際に通う、送迎ができる距離ではない場合、参加を諦める家庭もあるため、似た内容を他小学校で実施できることは、子どもたちの選択肢の増加につながっていると考え。 ・今回、同小学校へ新設及び再開したため、指導者同士の交流や、土曜の活動サポーターの活動・交流につながったと考える。 ・本事業は平成14年度から実施しているもので、指導者の高齢化等から、開設クラブは減少することが見込まれる。令和6年度以降も、本目標を継続することで、児童の活動の選択を広げ、地域交流を活発にすることを目標とする。 |
| ③学校と家庭の課題 | 放課後等における多様な体験活動 | 年々多様な体験活動が増えているが、経済格差や地域格差といった問題から、児童の体験の機会にも格差が生じている。 | これまでも行っているが、学校区を越えた多様な体験の場を児童に提供する。 | 多様な活動や体験を通じた交流から、青少年の健全な育成が望め、将来的には地域の中で多様な体験活動を行う人材育成につながる。 | 体験活動に対する児童・保護者の満足度(アンケート調査) | | % | 80 | ・97 ・98 | 4 ・現状の数値が分からない状態で目標設定だった。 ・目標値を上回る結果となり、本事業への児童・保護者両者からの満足度が高いことが分かった。 ・アンケート結果以外からだが、小学生の時に参加したクラブに中学生になって指導者側として参加するケースが見られた。 ・なお、アンケートの回答率が低く正確性には欠ける結果ではある。原因は、アンケート方法を電子申請としたため、実施した時期などが考えられるが定かではない。 ・令和6年度は上記目標とともに継続し、満足度の向上及びアンケートの正確さを図ることを目標とする。 |